

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 18 年 2 月 2 日 (2006.2.2)

【公表番号】 特表 2005-514335 (P2005-514335A)
 【公表日】 平成 17 年 5 月 19 日 (2005.5.19)
 【年通号数】 公開・登録公報 2005-019
 【出願番号】 特願 2003-535832 (P2003-535832)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 51/00 (2006.01)
A 6 1 P 13/08 (2006.01)
A 6 1 P 13/10 (2006.01)
A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 C 0 7 K 14/47 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 49/02 A
 A 6 1 P 13/08
 A 6 1 P 13/10
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 K 43/00
 A 6 1 K 49/02 B
 A 6 1 K 49/02 C
 C 0 7 K 14/47 Z N A

【手続補正書】
 【提出日】 平成 17 年 12 月 6 日 (2005.12.6)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲
 【補正対象項目名】 全文
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

下記式 A、B、C 又は D の化合物

(A) $M(I)-X_1-P-X_2$

(B) $X_1-P-X_2-M(I)$

(C) $M(T)-X_1-P-X_2$

(D) $X_1-P-X_2-M(T)$

(式 A、B、C 又は D 中：

M は、キレート化剤であり；

(I) は、M に結合したイメージング用放射性核種であり；

(T) は、M に結合された治療用放射性核種であり；

X_1 は、0 から 20 個の天然の又は合成のアミノ酸であり；

P は、P A C A P、又は P A C A P の生物学的活性を示すその類似体若しくは断片であり；そして

X_2 は、0 ～ 20 個の天然の又は合成のアミノ酸である)。

【請求項 2】

M が、 $N \times S y$ キレート化化合物を含む、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

$N \times S y$ キレート化化合物が、M A G 3 又は G l y - (D) A l a - G l y - G l y を含

む、請求項 2 に記載の化合物。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 の何れかに記載の化合物及び生理学的に許容しうるキャリアーを含む医薬組成物。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 3 の何れかに記載の化合物を含む、患者における腫瘍を検出し又は阻止するための医薬であって、該腫瘍が V P A C レセプターを発現する当該医薬。